

第3回寄居町まちづくり計画策定町民会議(開催概要)

1. 日時

令和3年7月20日(火)10:00~12:00

2. 会場

寄居町役場6階会議室

3. 参加者

杉山委員、清水委員、新井委員、澤田委員(代理:金井)、高橋委員、浅見委員

4. 会議次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

(1)第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の策定について

(2)その他

4. 閉会

5. 配布資料

寄居町まちづくり計画策定町民会議 第3回 次第

寄居町まちづくり計画策定町民会議 委員名簿(別紙1)

第6次寄居町総合振興計画後期基本計画について(別紙2)

第6次寄居町総合振興計画後期基本計画(たたき台)

意見交換で出されたもの

- ・ 「目標2 基本方針(1) 基本施策② 産業の振興」において、「経営革新計画策定件数」が成果指標として設定されているが、「創業者数」も成果指標に入れてほしい。
- ・ 定住はしないが、寄居町に来る人を増やすような内容も入れてほしい。
- ・ 前期基本計画から後期基本計画で、基本施策が48個から35個に減ったとのことだが、どの施策を統合・削除したかや、施策の中でも特に力を入れていきたいもの等について知りたい。
- ・ 魅力あるまちを目指すためにも、民間活力等をうまく導入し、農地を魅力ある住宅地に変換していくことが重要である。
- ・ 寄居町スマートインターチェンジの全面供用が開始されたが、周辺の土地利用に関しては、しっかりと検討し、記載してほしい。
- ・ 寄居駅では駅前整備が進められているが、秩父鉄道が所有している大型施設跡地については、何らかの検討が必要。
- ・ 「基本目標4 基本方針(4) 基本施策① 社会インフラの適切なマネジメント」の「5年後の目指すべき姿」について、「広域的な幹線道路ネットワークが形成され、自動車の流れがスムーズになっています。」という文章があるが、広域的な幹線道路ネットワークよりも、「周辺地域と連絡する道路」などと表現を改めた方がよいのではないか。
- ・ 移住・定住を促進するためにも、住宅の補助金交付は非常に重要である。財政との兼ね合いもあるが、できるだけ多く交付できるよう、検討してほしい。
- ・ 若者は、特に高校や大学への進学を機に町を離れ、そのまま就職する人が多いと感じている。一度町から離れても戻ってきてもらえるような事業が必要ではないか。
- ・ コロナ禍の中でリモートワークが推奨され、郊外に安価な住宅を求める人が増加している。寄居町でもそのような人をターゲットにして、移住・定住を促せないか。
- ・ 学校の統廃合に関しては、しっかりと検討する必要があると考えている。避難所となっている学校が無くなってしまうと災害時に取り残される人々が増えてしまうのではないか。

- ・ 「目標1 基本方針(1) 基本施策① 結婚・妊娠・出産の支援」について、様々な価値観が認められる現代において、真っ先に「結婚」という言葉が出てくるのには違和感がある。また、特に年配の方々には、ジェンダーやマイノリティ等に関する思想の浸透が少なく、若年層などの方々とのギャップが非常にあると感じている。
- ・ 寄居町には山にハイキングコースがあるが、トイレが汚く、特に女性は気になるのではないか。
- ・ 今後も人口減少が進むことが予測されているが、施策等を多く分散させて設定するよりも、一つでも特化したものを進めることが重要ではないか。ホンダ完成工場が寄居町に集約されたことから、特に産業発展に力を入れるべきだと考えている。
- ・ 学校の統廃合については、人口減少が進むからにはやむを得ないと考えている。人口減少をなんとかして抑えるためにも、産業振興は非常に重要である。
- ・ 何か事業を実施しようと考えても、農地法に阻まれることが多くあるため、どうにかできないか。
- ・ 今後、益々高齢化が進展していく中で、高齢者が健康を保ちながら、コミュニティ参加や就労参加を通じて、社会といかに長く関わっていくかは非常に重要な課題である。